

## なかまちテラスについて

平成27年3月にオープンを予定している「なかまちテラス」は、新しいタイプの複合施設です。公民館と図書館、この二つを単に合築するのではなく、機能としての複合化、乗り入れも図ります。「なかまちテラス」の利用者をはじめとした様々な市民が参画し、新しい価値を創造する施設です。

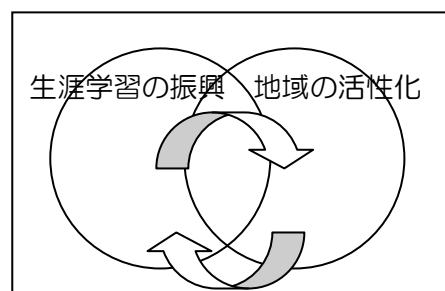
建物の設計・施工管理は、建築界のノーベル賞と言われる「プリツカー賞」の受賞歴もある世界的に著名な建築家の運営する妹島和世建築設計事務所が行いました。この斬新でデザイン性・芸術性の高い複合施設を活かし、機能面ばかりでなく、地域資源として地域経済への波及など周辺地域の活性化に寄与することも期待されています。

以上の点を踏まえて、生涯学習の拠点として、また地域の活性化に向けての「なかまちテラス」についての関連事業をまとめました。

### 1 関連事業について

#### (1) 目指す効果

新しい「なかまちテラス」で目指す効果は、①生涯学習の振興と、②地域の活性化です。この二つのねらうべき効果は、相互に影響し重なりあう部分を含んでいます。



#### ①生涯学習の振興

「小平市教育振興基本計画」では、基本的施策の一つに公民館に関するものとして「生涯学習の推進」が挙げられています。ここでは、施策の方向性として、「学習活動の成果の地域への還元を促進するため、機会・場の確保などの支援」を行うとしています。「図書館の充実」の項では、「地域の情報拠点としての役割を果たすため、地域の資料をはじめとした多様な資料の収集・整理・保存の機能強化と活用の推進を図る」としています。

また、「仲町公民館・仲町図書館建替えに係る方針」では、基本コンセプトを「人と情報の出会いの場」と定め、「双方の資源を有効に活かし、相乗効果と従来機能に新規機能を加味することにより、「より多様な市民が集い、多機能感やゆったり感のある施設づくり」を目指しています。

「なかまちテラス」では、生涯学習の拠点としての公民館と図書館が連携することによる相乗効果や、学習成果の地域への還元、さらには、利用者の主体性を尊重した学習活動の展開が期待されます。

## ②地域の活性化

地域の活性化の意義は幅広いものですが、様々な人がいきいきと元気に動く様子であり、活発なコミュニティの形成や活気のある産業活動が期待されます。

「小平市第三次長期総合計画 中期的な施策の取組方針」（平成 26 年 2 月版）では、商工業に関する施策の展開方向として、「事業者・市民・行政などが連携し、小平グリーンロードなどの既存の地域資源を有効活用するとともに新たな資源の発掘を行い、資源のネットワークを構築して地域産業の活性化及び地域交流の活発化を図って」いくとしています。

「地域活動・参加と協働」では、「地域が地域を担う地域自治を推進することについて、市民等の自主的・自律的な地域活動を支援するため、地域活動を行っている団体や関連機関と連携して顔の見える地域関係が構築できる仕組みづくり」を進めるとしており、学園西町地区において地域連絡会の取組が進んでおり、他地区への展開も調整が始まっています。

そして、「なかまちテラス」が、その建築デザインによる集客性も利しながら、市民共有の有効な資源として、「小平市観光まちづくり振興プラン」に「観光まちづくりに期待される効果」として示した「人が育ち、ネットワークが広がる効果」、「地域経済に波及する効果」、「シティセールスの効果」に向けて機能することが期待されます。

## （２）取組の主体

「なかまちテラス LiNKS プロジェクト」には施設利用者、子ども、学校関係者、農商工事業者、自治会、青少年対策地区委員会など地域の様々な方々が主体となって参加しています。

また、今回の関連事業については、武蔵野美術大学の学生も参加し、「なかまちテラス LiNKS プロジェクト」との連携も目指しています。

生涯学習の振興においても地域の活性化においても、市民の主体的な取組が重要です。

そして、行政の役割としては、財産の維持管理や付加価値の向上及び施設の利用に関する公正性の担保など行政の責任として実施するもののほか、市民の活動の支援や市民の意見をコーディネートすることが重要になります。

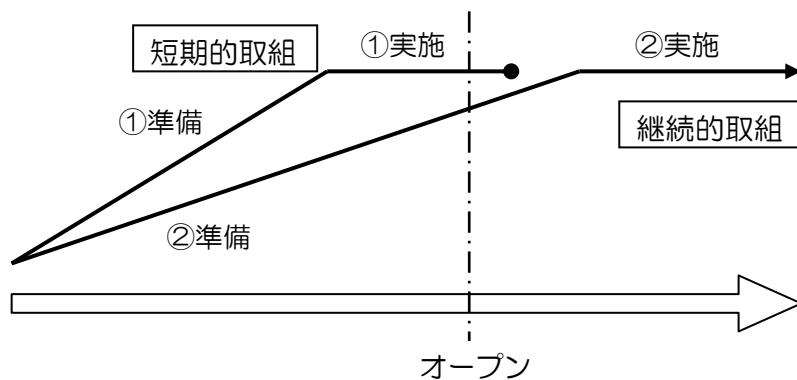
「小平市協働の推進に関する指針」では、「ボランティア団体や市民活動団体等と小平市が、それぞれの役割と責任のもとで公共的サービスの提供を協力して行うこと」を協働と定義しています。行政にはない自由な発想により地域に根差したまちづくりの推進を図るためには有効な手法です。「なかまちテラス」がその価値を最大限に発揮するためには、協働による取組が欠かせません。

### (3) 事業の客体

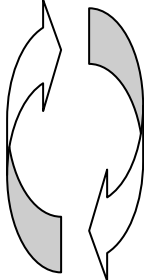
「なかまちテラス」に関して、今後、様々な方々が関わりを持っていくことが想定されますが、事業の対象を、①公民館・図書館を利用するみなさん（従来からのユーザー）、②今後、「なかまちテラス」に関わりを持つみなさん（新規のユーザー）、③初めて「なかまちテラス」を訪れるみなさん（来館者）、と設定します。「なかまちテラス」には多様な可能性が期待できるため、バランスに配慮して事業を進めていく必要があります。

### (4) 実施時期

「なかまちテラス」関連の取組は、すでに市で予算化され、執行中の事業もありますが、①「なかまちテラス」の開館に向けて準備する取組（短期的取組）、②開館後、継続的に実施するための取組（継続的取組）に分けて考えます。



## 2 事業の全体像

効果	施策分野	事業(主なアイテム)
I 生涯学習振興 公民館×図書館の相乗効果 学習成果の地域還元 主体性の尊重  	(1) 施設運営	開館時間拡大の試行 職員業務の共通化 相互乗り入れ事業
	(2) 設備・機能	ICT設備の導入(BDS、Wi-Fi) カフェラウンジの運用 学校図書館支援
	(3) 開館記念	開館記念式典 開館記念事業 仲町公民館閉館イベント
	(4) 市民の参画	なかまちテラス LiNKs プロジェクト
	(5) 周辺整備	小川用水親水整備 道路整備 駐車場の設置
II 地域活性化 地域産業への波及 多様な担い手の関与 観光まちづくりへの寄与	(6) 産業活性化	デジタルサイネージの活用 にじバス停留所の名称変更 観光モデルルートの設定 商店街等活性化スタンプラリー等
	(7) 広報	市報、各種メディアへの発信 妹島和世さんのコーナーの設置 にじバスのラッピング、駅前看板

### 3 事業の概要

#### (1) 施設運営

##### ①開館時間拡大の試行 公民館・図書館

###### 【概要】

ア 新仲町公民館は、これまでと同様に午前9時から午後10時まで開館します。

休館日は、毎週月曜日（ただし祝日を除く）としていたものを、第3木曜日のみとします。

イ 新仲町図書館は、これまで午前10時開館としていたものを午前9時に早め、火曜日、水曜日については、午後7時閉館としていたものを午後8時とします。

休館日はこれまでと同様に毎週金曜日及び第3木曜日とします。

ウ 新仲町公民館・図書館全体の休館日を第3木曜日とし、施設等の保守点検等を行うこととします。

試行は平成27年度末までとし、利用者数の実績により、その後の実施について判断します。

なお、図書館については、中央図書館については月曜日から木曜日まで、花小金井図書館、小川西町図書館については火曜日、水曜日に、午後7時閉館としていたものを平成27年4月1日から1年間を試行期間とし、午後8時までとします。

開館時間の拡大に伴う職員の勤務時間の変更については、現在、職員団体と協議をしています。

###### 【期待される効果】

「なかまちテラス」は、「人と情報の出会いの場」を基本コンセプトとしており、開館時間を拡大することにより、公民館と図書館の開館時間をできるだけ合わせ、利用者の利便性の向上を図ります。

※仲町公民館・仲町図書館建替えに係る方針

第3 施設の複合化に当たっての具体案、1 複合化による利便性の向上、2 複合化による施設の有効活用の推進

##### ②職員業務の共通化、公民館・図書館の相互乗り入れ事業 公民館・図書館

###### 【概要】

公民館・図書館の窓口については、公民館職員と図書館職員（嘱託職員を含む）が共通の業務を行います。

また、公民館、図書館双方の資源を有効に活かすことから、連携による事務事業の効果的な推進を図ります。これまで独立して開催していた行事等について、複合施設である利点を活かし、図書館・公民館の相互乗り入れ事業を展開していきます。

(事業例)

・「仲町公民館まつり」を「なかまちテラスまつり」として、公民館、図書館、地域住

民、商店会と協働して実施

- ・図書館おたのしみ会への公民館サークルの参加協力（人形劇サークルによる講演等）
- ・公民館の講座での図書館資料を使用した講座の企画（紀行講座・小平の歴史講座）
- ・公民館ボランティア講座終了後に図書館業務のできる講座の企画
- ・家庭教育講座に図書館の絵本とふれあうカリキュラムを導入
- ・図書館資料を使った調べ学習の講座の開催（小学生・中学生対象）
- ・図書館の商用データベース等を活用した公民館講座の開催

#### 【期待される効果】

公民館と図書館とで縦割りで行われていた事業を共通して行うことで、利用者の利便性が向上します。

さらに、部屋を柔軟に活用することで、部屋の稼働率が向上し、幅広い世代の市民が集い、利用することにより市民の繋がりや相互信頼が高まります。

※仲町公民館・仲町図書館建替えに係る方針

第3 施設の複合化に当たっての具体案 1 複合化による利便性の向上

## （2）設備・機能

### ① ICT設備の導入 図書館

#### 【概要】

ICT設備を次のとおり導入します。

- ・閉館時貸出ロッカーの設置、
- ・Wi-Fi機能の整備、
- ・商用データベース（ポプラディア、ヨミダス、ジャパンナレッジの導入（予定））、
- ・ブック・ディテクション・システムの導入、
- ・自動貸出機の導入、
- ・デジタルサイネージの設置。

#### 【期待される効果】

ICT設備の導入により来館者の利便性の向上を図ります。

ICTタグを図書・雑誌に貼付し、出口のゲートセンサーで貸出手続きの有無を確認するブック・ディテクション・システムの設置により、館内のどこでも閲覧ができます。また、貸出ロッカーの設置により、いつでも予約資料の貸出ができます。

※仲町公民館・仲町図書館建替えに係る方針

第3 施設の複合化に当たっての具体案 1 複合化による利便性の向上 （1）市民の交流の場としての多目的スペースの整備、（3）市民の交流の場としての地域の集会機能

### ②カフェラウンジの運用 公民館・図書館

#### 【概要】

カフェラウンジは、障がい者団体によりサービスの提供を行うよう協議を進めています。また、デジタルサイネージを設置し、小平市の地域資源や観光ルートなどを発信していきます。

なお、カフェラウンジの営業については、開館後3か月間は、図書館の開館時間・開館日に合わせ、そこでの実績を踏まえて、正式な営業時間、営業日を決定していきます。

#### 【期待される効果】

来館者がくつろげる空間や市民の交流による人と情報が出会う場になるとともに、障がい者の就労支援の場にもなります。

※仲町公民館・仲町図書館建替えに係る方針

第3 施設の複合化に当たっての具体案 1 複合化による利便性の向上 (1) 市民の交流の多目的スペースの整備

### ③学校図書館支援 図書館

#### 【概要】

現在、中央図書館で行っている学校図書館との連携推進に関することや学級文庫の団体貸出業務に関する事業を、学校図書館推進館である仲町図書館に移管します。

また、児童コーナーには、データベースや調べ学習用の席、ティーンズコーナーを設置します。

#### 【期待される効果】

学校図書館支援や子どもの読書活動の推進について、より充実したサービスを展開します。

※仲町公民館・仲町図書館建替えに係る方針 第3 従来機能の充実

小平市観光まちづくり振興プラン 目標4：ゆったりしたまちの価値への理解を深める  
プラン27 調べ学習等による郷土教育の充実

### (3) 開館記念

#### ①開館記念式典、開館記念事業 公民館・図書館

#### 【概要】

開館式典は平成27年3月13日(金)に開催し、平成27年3月14日(土)から利用開始とします。

なお、開館記念事業は、3月13日(金)に妹島和世氏講演会(18時〜ルネこだいら中ホール)を開催しますが、開館第1週の土曜日、日曜日は多数の来館者が想定されることから、開館記念事業は第2週以降に以下の事業の実施を予定しています。

絵本原画展、原画展の作家による記念講演会、子ども科学講演会、クラシック音楽の演奏会(図書館閉館後ホールで)、子どもまつり(人形劇、大型紙芝居、ブックトーク、映画会)、公民館サークル等による発表会等

なお、「なかまちテラス LiNKS プロジェクト」と連携したその他の事業についても検討中です。

#### 【期待される効果】

開館記念式典、事業を行うことで、「なかまちテラス」について効果的な周知をしていきます。

### ②仲町公民館閉館イベント 公民館

#### 【概要】

現在の仲町公民館は、平成27年3月8日に閉館の予定です。

LiNKSプロジェクト「なかまちテラスの未来づくりワークショップ」において、企画・実施をしていきます。

#### 【期待される効果】

これまでの活動を振り返ることをとおして、新たな「なかまちテラス」での事業への期待につなげ、「なかまちテラス」について効果的な周知をしていきます。

## (4) 市民の参画

### ①なかまちテラスLiNKSプロジェクト 公民館・図書館

#### 【概要】

LiNKS (Library 図書館・i私・Nakamachi 仲町・Kominkan 公民館・School 学校) プロジェクトとして、以下の事業を実施しています。

ア 「なかまちテラスの未来づくりワークショップ」

「なかまちテラス」での活動の可能性を検討するワークショップです。

今後は、「なかまちテラス未来づくり実行委員会」として、市民と職員が連携して、事業の企画・実施を行っていきます。

企画・実施する事業として、施設のイメージづくり、仲町公民館閉館イベント（平成27年3月8日に閉館）、「なかまちテラス」のPR、開館関連イベント、開館後の事業企画、なかまちテラスサポーター（ファンクラブ・友の会）の設置などを予定しています。

イ 「この指とまれ！なかまちテラスで新しいサークルを作ろう」

公民館と図書館が連携した取組、学校と連携した取組、「なかまちテラス」をPRする取組などを公募し、新たに「なかまちテラス」で活動するサークル（社会教育関係団体）を育成し、その活動を支援します。

#### 【期待される効果】

市民の参画により、地域の施設として地域の方々に愛着を持っていただくことが期待されます。従来の公民館と図書館の単一機能ばかりでなく、相互に連携した事業の実施や地域のコミュニティの拠点となるソフトづくりに地域の方々の考えが活かされます。

また、「なかまちテラス」を地域の魅力的な施設にするために、主体的に活動していただけの地域の方々の集積が可能となります。



## (5) 周辺整備

### ①小川用水親水整備 水と緑と公園課

#### 【概要】

「なかまちテラス」の北側を流れる小川用水を対象として、「春の小川」をイメージし、景観に考慮した親水整備を進めていきます。

既存の安全鋼板護岸から防腐処理を施した木柵護岸へと改修し、土上げ敷きに樹木や草花を植えて美しい景観を創出するとともに、より用水路を身近に感じていただくことができるように水辺を観察できるデッキを設置します。

#### 【期待される効果】

景観整備を行うことで、より用水路を楽しんでいただくほか、「やすらぎ」や「うるおい」を感じていただくことも期待できます。

また、親水整備区間の一部には、「身近なビオトープづくりパンフレット編集委員会」が提案する予定の、チョウを呼ぶための餌となる食餌木や草花を植栽し、新たな小生物の生息空間の創出に努めます。

また、小平の歴史的文化遺産である「用水路」を来館者が見学することで、小平の歴史、地域について興味・関心を持つきっかけとなります。

※小平市観光まちづくり振興プラン

目標4：ゆったりしたまちの価値への理解を深める プラン28 緑の保全や用水路等の整備

### ②道路整備 みちづくり課

#### 【概要】

「なかまちテラス」東側の認定外道路ハ-6の整備を行います。

(施工延長約46.9m、施工幅員4.0m)

#### 【期待される効果】

L形側溝約68.3m、集水桝設置を4箇所、区画線（「止まれ」、「停止線」の路面表示など）を行うことにより、周辺地区の生活環境の向上を図ります。

### ③駐車場の設置 公民館・図書館

#### 【概要】

複合施設としての魅力、妹島氏の設計による建築物といったことから、多くの来館者が見込まれるため、「なかまちテラス」内に9台、その他に土地の借り上げにより5台収容可能な駐車場を設置します。

#### 【期待される効果】

これまでの地区館以上の台数が収容可能となります。

※仲町公民館・仲町図書館建替えに係る方針

第4 その他 1 建替えに当たっての配慮事項

#### ④デジタルサイネージの活用 産業振興課

##### 【概要】

「なかまちテラス」内のカフェラウンジに設置されるデジタルサイネージを活用し、小平市の地域資源等の魅力を発信します。

コンテンツの作成に当たっては、市民参加のワークショップを実施し、地域での機運を高めるとともに、市民にとって知りたい、親しみやすい内容といたします。

##### 【期待される効果】

「なかまちテラス」を利用する方に、小平市の魅力を伝え、地域への愛着を深めていただき、市内での交流や積極的な地域づくりにつながることを目指します。

市外からの来訪者に対しては、小平市の地域資源や観光ルートなどの魅力を発信し、「なかまちテラス」周辺にも足を運んでいただけるようにするとともに、再び訪れてもらうことを目指します。

※小平市観光まちづくり振興プラン

目標3：地域の情報発信力を強化する プラン18 テーマを意識した情報発信

目標5：文化・交流につながる地域資源を活用する プラン34 モデルコースやモデルエリアの設定及び情報提供

#### ⑤にじバス停留所の名称変更 参事（公共交通）

##### 【概要】

「なかまちテラス」の開館にあわせ、にじバスの停留所の名称を「仲町公民館」から「なかまちテラス」へ変更します。

##### 【期待される効果】

「なかまちテラス」という名称が、停留所の板面や、にじバスの車内モニター画面に表示されるほか、音声でもアナウンスされることにより、市民等に広くPRすることができます。

#### （6）産業活性化

##### ①観光モデルルートの設定 産業振興課

##### 【概要】

地域資源を発掘・活用し旅行者の誘致につなげていくことを目的とした東京都の「地域資源発掘型実証プログラム事業」において、複数の観光モデルルートの開発が行われ、「なかまちテラス」も含めたルートも検討されています。

##### 【期待される効果】

今回の事業で複数のモデルルートを巡るイベントを行います。

観光モデルルートの設定により「なかまちテラス」を訪れる人が増え、周辺の商店等

への経済効果が期待されます。

また、「なかまちテラス」から市内の他の地域へ誘導をすることで、市内全体へ経済効果が波及することを目指します。

なお、事業後の参加者のアンケートや事業報告書などからルートを検証し、より魅力的なルート設定を行うことも検討します。

※小平市観光まちづくり振興プラン

目標 2：おもてなしの環境整備を進める プラン 1 1 鉄道駅からのウォーキングコース PR

目標 5：文化・交流につながる地域資源を活用する プラン 3 4 モデルコースやモデルエリアの設定及び情報提供

## ②商店街活性化（スタンプラリー等） 産業振興課

### 【概要】

仲町周辺の事業所が集まった仲町共栄会（商店会組織）が、「なかまちテラス」開館の機運を盛り上げるため実施する「仲町まちめぐりスタンプラリー」に対し、「中小企業等活性化推進事業」等を活用し、支援していきます。

### 【期待される効果】

「仲町まちめぐりスタンプラリー」を実施することで、仲町共栄会の事業者連携が推進されるとともに、「なかまちテラス」周辺のにぎわいが創出されます。

また、各事業者のサービス向上が図られることで、消費者の利便性の向上、来訪者の満足度の向上が期待できます。

※小平市観光まちづくり振興プラン

目標 7：小平ならではの特産品づくりと産業振興を進める プラン 5 0 きめ細やかなサービス実施

## （7）広報

### ①市報、各種メディアへの発信 公民館・図書館、秘書広報課

### 【概要】

「なかまちテラス」の周知については、これまでも解体から建築に至る写真を市ホームページに掲載するほか、「なかまちテラス」の模型を公民館・図書館に展示しています。

今後は、市報に「なかまちテラス」についての記事を定期的に掲載するとともに、開館特集号を3月5日に発行します。

また、各種メディアに対する情報発信を積極的に行っていきます。

### 【期待される効果】

「なかまちテラス」開館に向けて市内外に広くPRすることにより、気運の盛り上がり期待できます。

## **②妹島和世さんのコーナーの設置** 図書館

### **【概要】**

著名な建築家である妹島和世氏のデザインによる建物であることを広報するために、また、建築物を目的に来館する方に向けて130冊程度の関連書を集めたコーナーを開設します。

### **【期待される効果】**

妹島和世氏のデザインによるものであることが周知されることにより、建築物の面からの「なかまちテラス」のPRとなります。

## **③にじバスラッピング、小平駅南口看板** 公民館・図書館

### **【概要】**

平成27年1月の実施を目途に武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科の学生と調整及び作業を行っています。

### **【期待される効果】**

「なかまちテラス」について、市民等に広く効果的なPRをすることができます。